

令和8年6月25日 発行
編集・発行
片瀬だより編集委員会
藤沢市片瀬3丁目9番6号
電話 29-7171
FAX 25-8907

片瀬だより

生涯学習事業のお知らせ

申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページ等をご確認ください。

片瀬市民センター（本館）

片瀬福寿学校公開講座《要申込》

★10月1日(木)
午後2時から4時まで
「夜空の楽しみ方
まずは今宵の星空から」

おひざの上のおはなし会と わらべ歌

★7月10日(金)
★9月11日(金)
午前10時から正午まで



パパママみんなに聞いてほしい 知って安心！講座《要申込》

★7月11日(土)
午前10時から正午まで
「いざという時の救命講習」
※終了後に、修了証を交付します。



夏休み子ども事業 《要申込》

『マイクロプラスチックで
万華鏡づくり』
★7月29日(水)午前10時から
11時30分まで



海洋科学教室 《要申込》

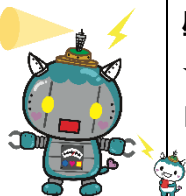
★8月19日(水)
午前9時30分から午後3時まで
小学4年生～6年生
※現地集合・現地解散となります。
(新江ノ島水族館)

★9月8日(火)
午前10時から正午まで
「アロマバレエストレッチ」

片瀬しおさいセンター

おもちゃの病院

★7月18日(土)
★8月15日(土)
★9月19日(土)
★10月17日(土)
午後1時30分から
3時30分まで



昼のエクササイズ

★7月21日(火)
「今の身体に優しく寄り添う
ピラティス」
★10月7日(水)
「心と身体をつなぐバトン」
※午前10時から
11時15分まで



楽しく子育て 《要申込》

★7月15日(水)
「保育士さんとあそぼ！」
★8月19日(水)
「読み聞かせとわらべうた」
★9月16日(水)
「親子であそぼ！一緒にストレッチ！」
★11月18日(水)「英語であそぼ！」
※午前10時から11時30分まで



スマホお助け隊《要申込》

★7月16日(木)
★8月20日(木)
★9月17日(木)
★10月15日(木)



夜のエクササイズ

「脂肪燃焼！
ボクシングエクササイズ」
7月8日(水)・8月12日(水)
9月9日(水)



ようこそ小さな空間アンソレイユ

★7月6日(月)「タイム」
★8月3日(月)「沖縄のハーブ」
★9月7日(月)「パルマローザ」
★10月5日(月) お楽しみに♪



第47回片瀬地区ふれあいまつり

10月31日(土)・11月1日(日) 午前10時から午後3時まで

★片瀬市民センター：音楽芸能部会発表、展示発表、模擬店多数など

★片瀬しおさいセンター：スポーツレクリエーション部会発表、模擬店、キッチンカーなど

※片瀬しおさいセンターは10月31日のみ



片瀬市民
センターHP

はじめまして

片瀬市民センター
吉村 輝彦 新センター長

この度、4月より片瀬市民センター長に着任しました。



片瀬地区は、穏やかな海と緑に恵まれ、四季折々の自然を身近に感じられる素晴らしい場所だと実感すると同時に、このような豊かな環境の中で、皆さまとともに歩んでいけることを大変嬉しく、光栄に思っております。

また着任して以来、皆さまの活気ある活動の様子を拝見し、この地域の温かさや力強さを感じております。これまでの良き伝統を引き継ぎながら、この素晴らしい環境を大切にするとともに、防災防犯対策に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域を目指してまいります。

引き続き地域の皆さまのご協力をいただき、より一層親しまれ、笑顔で交流できるセンターづくり、コミュニティづくりの一助となれるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

藤沢の漁業②

江の島が誇る「豊かな漁場」と伝統の漁法

藤沢の現状などについて、江の島片瀬漁業協同組合代表理事組合長の北村治之氏が藤沢生涯学習大学の講座で語られた内容の要約の第2回目を掲載します。

「江の島の海は、地形と潮の流れが重なり合う漁

場です。島が南に張り出しているため、東西からの潮が循環しやすく、境川から淡水が流れ込む汽水域もあり、プランクトンが豊富に発生する好漁場を形成しています。この恵まれた環境で、漁師たちは魚種に合わせて多彩な漁法を駆使しています。

代表的なのが、沖合約1キロに設置された「大型定置網」です。海の中に巨大な迷路のような網を固定し、回遊してくる魚を自然に誘導して獲る「待ち」の漁法です。また、一艘の船で網を引いて獲る「湘南しらす(船引き網)」や板状の網を沈めて魚やエビ、サザエを絡める「刺し網」、夏場に賑わう伝統的な「地引き網」などがあります。他にも一本釣りや、アクアラングを使わない「素潜り漁」、そして私が一人で守り続けている「わかめの養殖」など、豊かな個性がこの海に息づいています。しかし、日本の漁業は今、大きな課題に直面しています。全国の漁獲高は減少傾向にあり、漁師の高齢化も深刻です。漁業者のボリュームゾーンは65歳以上で、20代30代の若手不足が続いています。肉体的なきつさや収入面の不安から敬遠されがちな現実があります。近年では「セカンドライフ」として漁業を志す人も現れています。

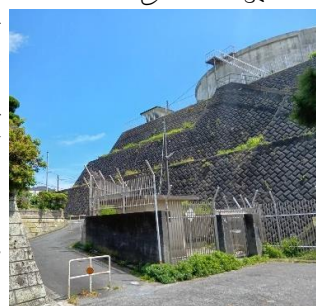
私たちの食卓を彩る新鮮な魚を届けるため、江の島の漁師たちは日々知恵を絞り、海の変化と向き合いながら伝統を守り続けているのです。」



私の散歩道「腰越配水池」

片瀬山東側頂上に謎のドームがあります。

片瀬山は西鎌倉と隣接していますが、実際に行き来できるのはモノレール片瀬山駅横の道だけだと思っていたのですが先日、散策で謎のドームあたりをブラついていると、ドームに脇道があり西鎌倉に抜けることを知りました。車は通れない細道で人の行き来はあまりありませんでしたが、簡単に西鎌倉に行けることを発見し感激してしまいました。



この機会にドームを調べたら、腰越配水池という名前で浄水を供給してくれているようです。名前は腰越ですが、住所は片瀬山で藤沢の水道営業所が管理しているようです。

ちなみにモノレール片瀬山の住所は西鎌倉でした。

(I)

片瀬福寿学校50周年

65歳以上の方を対象にした生涯学習事業「片瀬福寿学校」が今年度で50周年を迎えました。月に

1. 2度の「学び・集い・憩い」の場としてコロナ禍でも感染予防対策を行いながら続けてきました。今年の開校式には中山副市長にご挨拶いただきました。2月まで座学・社会見学・コンサートなどもりだくさんの内容を予定しています。



片瀬・江の島イチオシ浮世絵③

元藤沢市藤澤浮世絵館 学芸員 細井守

小林清親「日本名勝図会 江の島(にほんめいしよ)うずええのしま」(制作年：明治二十九(一八九六)年)

浮世絵は江戸時代後期に隆盛期を迎えますが、明治になって新しい印刷方法や写真技術が輸入されたことや、これまでの文化を時代遅れと考える価値観が広まったことが影響し、次第に衰退を迎えることになりました。

今回紹介する作品の作者、小林清親(こばやしきよちか 一八四七-一九一五)は、そうした時期に活躍した、「最後の浮世絵師」のひとりです。幕末に来日したイギリス人画家のチャールズ・ワグマン、幕末に活躍した浮世絵師、河鍋晩斎(かわなべきようさい)、絵師で漆工家の柴田是真(しばたせしん)、写真家の岡田蓮杖(しもおかれんじょう)らの影響を受け、写真、西洋画、日本画の三つを折衷融合した「光線画」という独自の描法を開発したことで知られます。明治の広重とも称されました。

「名勝」とは鑑賞上価値の高い風景地のことを言います。図中、上部に掲げられた解説文には、「東海道相模の国西南の海中に点在する孤島にして江之島神社を祭る四望快々(しばうかいかい)。四方の眺望がさわやかで気持ちがいい)として一(ひとつ)の仙境(別世界)なり」と、その「名勝」たる由縁が記され、下部に描かれた浜の風景では、砂浜に建てられた小屋のひなび

た風情や、浜仕事の人々の往来など、細かな描写が見られます。左から三人目の人物の手拭いの頬かむりは、浜辺の強烈な日射や潮風等から身体を守るためのスタイルだったようです。

なお、浮世絵に描かれた江の島には、片瀬と砂洲で繋がって描かれることが多いですが、砂洲はあくまでも干潮時に現れるもので、平時は船で渡っていました。



インタビューでふりかえる

片瀬山住宅地のいまむかし①

片瀬地区は片瀬、片瀬海岸、片瀬目白山、片瀬山、江の島の五地域からなるエリアです。中でも片瀬山地域は最も新しく開発された住宅街です。片瀬山という一つの山があったわけではなく、北から駒立山、赤山、竜口山まで、スギや松のうっそうと茂る地域でした。戦後に開発が始まり、1955年(昭和30年)にゴルフ場ができました。しかし経営は長続きせず、土地は三井不動産に渡り、1967年(昭和42年)より、住宅地の開発がはじまり今に至ります。

現在は1,770世帯、4,088人の方がお住まいです。ちなみに片瀬地区全体の人口は19,816人です。(2026年4月1日現在。藤沢市公式ホームページより)

今回から3回に分けて、開発された当時から今までを片瀬山にお住いの方々や片瀬に古くから住まわれていたみなさんのインタビューを中心に振り返ります。

【開発以前の思い出】

「稻荷川(常蓮寺川)といわれる小さな川が流れていました。今は暗渠となりましたが、その一部が百合学園の脇を流れています。川は片瀬川に流れ込んでいます。川をさかのぼって片瀬山に入れば、そこは昆虫の宝庫でした。カブトムシやクワガタの集まる秘密の木を目指して朝早く家を出たものです。」(片瀬在住80代男性)

「百合合の坂をのぼったところに知り合いの畑があったので、リヤカーにたい肥を載せて運ぶ手伝いをしたことがあります。片瀬山駅ができるずっと前、腰越と片瀬の小学生在ああたりでよくケンカしたの。おたがいにはやしたてるような唄を唄ってたね」(片瀬在住80代男性)



稲荷川(常蓮寺川)から片瀬山を望む

ふるさと片瀬

〜今昔あれこれ〜

「昭和の親」

中村 喬

お盆を過ぎると海水浴は絶対に認めなかった。危険だと言った。

「親の意見と冷酒は後で効く」とはよく言われることわざだ。昭和二十年代に子ども時代を送った私が令和の今になっても心に残る親の教えがある。

夜、爪を切ろうとすると決まっしかられた。なぜ？と聞き返すこともなくこの教えは今も身につけている。夜に口笛を吹くとこれも縁起が悪いとたしなめられた。蛇が出るともいわれて怖くなった。夜の蜘蛛を退治しても何も言わなかった親から朝の蜘蛛は福を呼ぶから大事にせよと諭された。

食事ときには、一度箸をつまんだ食べ物をもとに戻して別のものを取るのと、迷い箸はいけないと言われた。食器を重ねたまままで食べ物をのせると叱られた。

洗濯したシャツや下着は一度たたんでから着なさいと教えられた。新調された靴を喜びのあまり室内で履いたまま降りようとするとこれもまたたしなめられた。

片瀬の子どもにとって夏の海は絶好の遊び場だった。しかし、親は八月の



【母の味炊き込む茸ご飯かな】

「親の意見と茄子の花は千に一つの無駄もない」の言葉を改めて思い出している昭和百年である。

片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも、一人10冊まで2週間借りられます。

【開室時間】

火〜日曜日
午前10時〜午後5時

《新着本のお知らせ》

「大関 和」

「青春といく」

「あなたの命綱」

「うきうき思いつき」

「夫婦集」

「めだまのスポット」

「マスキングテープイラスト & デコブック」

「わかつたさんのマシムロ」

「一〇〇円ショップでそろろう!」

「はたらく洋菓子店」

「ひとり遠足」

「たかぎ なおこ」

片瀬市民センターからのお知らせ

これまで年4回発行しておりました「片瀬だより」につきまして、回覧のご負担軽減および内容充実のため、令和8年度より年3回の発行へ変更いたします。

なお、生涯学習事業のご案内やお知らせにつきましては地域回覧や広報、市のホームページをご覧ください。

「片瀬だより」もホームページでは、カラーでご覧いただけます。

今後わかりやすく充実した内容をお届けしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

次号の発行は10月25日を予定しております。



片瀬市民センター
ホームページ

編集後記

片瀬中学校の前に立ち、住宅地を見渡すと、家々が連なり、造成当時の面影はどこにもありません。街が造られていくとはこういうことかと、感慨深いものがあります。

片瀬だよりは今年度から年3回発行となります。今後も自治会の皆さまのご協力を仰ぎながら、片瀬の歴史、話題をお届けしたいと思えます。

(〇)